



Press Release

2010年10月5日 エレクタ株式会社

エレクタと東芝が放射線治療装置の販売で合意

スウェーデンの Elekta AB の子会社であるエレクタ株式会社と東芝メディカル・システムズ株式会社が日本市場にて放射線治療装置の販売で合意しました

エレクタ株式会社（以下エレクタ）と東芝メディカル・システムズ株式会社（以下東芝）とは東芝がエレクタ製品並びにソリューションを日本の放射線治療市場にて販売することに合意した。これによりエレクタの卓越した製品とサービスを、より多くの日本のがん治療施設並びにがん患者さんに提供することができます。エレクタのティム・ルーニー社長は「東芝と今回の合意に達して大変うれしく思います。東芝は画像診断装置の世界的なトップメーカーであり、放射線治療分野において長い経験を有しています。長期にわたるパートナーとして東芝は理想的な提携先と思います。」と述べています。

統計的にがん治療は伸びる市場である。

日本のがんに関する統計では、20世紀後半では毎年5万から6万人ががんで亡くなっていたが、その後がんによる死亡は増え続け、1981年には心臓病を抜いて死亡原因のトップとなっている。厚生労働省の統計では2007年には336,290人ががんで亡くなっており死亡者3人に一人の割合となっている。第二位は心臓病であるが、その数はがんの半分にすぎない。

（エレクタについて）

エレクタは、がんや脳疾患の治療において革新的なソリューションを開発してきた、グローバルなヒューマンケアカンパニーです。放射線治療とラジオサージェリーのための先進治療システムと治療計画ソフトウェア、さらにはがん治療プロセス全体のワークフローを向上させるシステムを開発しています。エレクタは、がんとの闘いにおいて総合的なソリューションを提案することによって、日本の医療分野において選ばれるパートナーとなることを目指しており、加えて臨床パートナーとの緊密な協力は、がん治療に役立つ製品・ソリューションを開発する上で、欠かせない大切な要素と捉えています。エレクタは、先端の技術による製品並びにソリューションを提供することで、より良いヒューマンケアの実現を目指しています。

エレクタの提供するソリューションは全世界で5,000以上の病院で使われており、毎日10万人の患者さんが診断・治療を受けています。エレクタはノルディック市場に上場されており、従業員数2,500人、ストックホルム（スウェーデン）に本社を置く、グローバル企業です。

（東芝メディカル・システムズについて）

東芝メディカルシステムズ株式会社は、疾病の早期発見のためのスクリーニング、診断から治療、治療後のフォローアップまで、医療施設におけるワークフロー全般に関するあらゆるニーズへのトータルソリューションを提供する国内市場における画像診断システムのトップメーカーです。

東芝メディカルシステムズは、その経営スローガンである「Made for Life」（患者さんのために、あなたのために、そしてともに歩むために）を通じ、かけがえのない命とお客様の成長・成功に役立つよう、一層の活動を進めています。

問合せ先：エレクタ株式会社マーケティング部 岡田(Tel:03-6722-3800 Fax 03-6436-4231)

エレクタ 株式会社